

TREKKING AROUND ANNAPURNA

through the world's largest pass-Thorung La

O.Taira

2012年11月2日から17日、ネパールのアンナプルナを周遊するトレッキングに出かけてきた。

ネパールは5度目、2009年のエベレスト・ビュー・トレッキングで初めて5000mを超えたが、今回のハイライトは5416mの

トロン・パス越えであった。

カトマンズから車と路線バスを乗り継ぎ10時間以上かけてトレッキング出発地シャンジェ①に着いた。(地図上の○数字が集落の位置)

トレッキング 1日目
 シャンジェ①(1100m)から
 タル②(1700m)へ

路線バスは、次の集落ジャガットまで入っていた。

→シャンジェからマルシャディ川沿いに北に向かって歩きはじめる。

ほどなくジャガットに着く、昼食地チャムゼ(1370m)にかけて山が両方から迫ってくる。↓



タル(1700m)↓には、昼食を挟み7時間ほど。川沿いの集落へ下るが、ここへも車道が工事中であった。



広い庭のある綺麗なロッジ。←ロッジ名は「TILICHO HOTEL」と、1950年8000m峰初登頂したフランス隊がアンナプルナへの登山路を探すなかで通った山名・地名が使われていた。 本日の歩数:28,000歩

Laは、ネパール語で峠を意味する

トレッキング 2日目
 タル②(1700m)からダナキュウ③(2300m)へ
 マルシャンディ川左岸に沿って歩き始める。 ↓



正面川沿いの集落がタル右岸の車道にわたり2時間ほどでカルテ(1850m)に着く。



カルテから、1時間ほどでマナスルへの分岐ダラパニに着く。ダラパニは右岸を大きく左に回った

途中滝が虹を作り流れ込んでいる。→



ヒマラヤザクラも満開だった。 ↓



ところで、ここから40分。 ↑
 北東にドゥド川越しにマナスルが見えはじめる。

ダラパニ(1860m)で、出会ったドイツのご婦人二人連れ、ガイドもポーターもなくオールドルートを歩きとおしたようだ。マナスルが頭を出した。→

ダナキュウ少し手前のロッジの庭に皇帝ダリアが咲き、その背後にマナスルにつながるピーク21(7871m)が見れる。



カルテへは再び左岸へつり橋を渡る。 ↓



ダナキュウ到着が14:40
今日の歩数
22,300
歩。

ここでお茶休憩。 ↓



ロッジのオーナーは、食事も作っている。子どもたちと一緒に →



この日の夕方、ロッジから見るピーク21のサンセット

トレッキング 3日目
 ダナキユ③(2300m)から
 チャーメ④(2760m)へ

ダナキユ出発時の SpO2 は 95%。

ティマンベシ
 (2270m)まで
 ほぼ 2 時間。
 途中岩をくぬ
 いた車道は水
 が轟々と流れ、
 ジープもビスタ
 ーリでやっと走
 行している。
 →



ここからマナスル・ノース、マナスル、ピーク 21 が見える。↑

タマラン
 (2400m)
 で昼食。こ
 こからはピ
 ーク 21 の
 み見える。
 →



コト(2600m) →
 後の山はピーク 21。
 西には、アンナプルナⅡが
 見えはじめる。↓



ここまでく
 れば
 チャーメ
 まで
 あとわず
 か。

大きな仏塔門(カ
 ソニ)が、チャーメへの
 入り口だ。→



今夜のロジは、
 HOTEL LAMJUNG VIEW オーナーが玄関で客引き中。



チャーメは大きな集落だ。
 中心部の広場越しに
 マナスルがきれいに見え
 る。

サンセットに期待を寄
 せて、荷物の整理をした
 後、マナスルを見渡せる
 広場に駆け付ける。期
 待に応えるかのように
 段々と紅に染まっていく
 光景に感激しながらシャ
 ッターを切る。

今日の歩数は
18,140 歩。



感動的なマナスルのサンセット(右ピーク 21)



トレッキング 4日目
 チャーメ④(2760m)から
 ピサン下村⑤(3200m)へ

朝食前に少し西に歩くと、朝日に染まるラムジュン・ヒマール(6983m)が見渡せた。↓ 歩きはじめは7時50分。



古いチオルテン(仏塔)が、タレウ(2720m)への入り口。← 40分で着いた。



タレウで休むポーターのパーサン・シェルパ。

後にある我々二人分の荷物↑など、一人で40数kgを背負って全コース歩いてくれた。チャーメから2時間ほどでバラタン(2850m)着。マニ車を廻して「オンマニ



ペメフン」を唱える。↑ ここでお茶。↓



バラタンからドクレポカレに向かう途中には、岸壁をくりぬいた道があり、ここを通ることを期待していたが、車道とし

て拡幅工事中通行止め、対岸の旧道をたどることになる。



ドクレポカリ(3060m)に13時着。遅い昼食となる。昼食時に会った、ドイツのご夫婦。



ここからピサンへは70分。→ ピサン入口のカニ。



ピサンピーク(6091m)が見える。→

ここでも、老女が一心にマニ車を廻しながら「オンマニペメフン」を唱えていた。↓



午前11時頃 2850m地点での SpO2 は 94%
 夜の SpO2 は 93% ピサン下村
 今日の歩数は 24,160 歩。

トレッキング 5日目
 ピサン下村⑤(3200m)から
 マナン⑥(3540m)へ

歩きはじめて
 80分で小さな峠に出る。
 ここから眼下に
 フムデの集落と飛行場と遠くに
 ティリチョ・ピーク(7134m)



アンナプルナⅢ ↓ ↑この峠はノドハラ(3280m)



↑フムデから見るアンナプルナⅢに感動！



← 背後にピサン・ピークが見える。

フムデ(3280m)には、手作りパン屋があった。



↑フムデからムンギに向かう途中に見えたのはアンナプルナⅢ →

マナンの手前、バラガ



← には巨大なバラガ・ゴンパが岩山にへばりついてた。

マナンは、富士山の



↑ ひとつ100ルピー(105円)で、地元の人々の口には入らないだろう。

↑ 標高より230mほど低いだけ。マナンは正面の丘の上だ →



← フムデの集落で荷物をマナンまで運んでの帰りとみられる馬の隊列に出会った。

今日のロジは、トロン・ラ・ホテル →

朝ピサン 3200m
 SpO2は 86%
 昼 3330m 92%
 今日の歩数
 24,460 歩。



トレッキング 6日目
 マナン⑦(3540m)で高度順応のため
 3915mのバラケン・ゴンパへ



マナンのロッジから見るチョルテンと背後のアンナプルナII、IV峰 ↑



ロッジ隣の巨大なチョルテンの背後にはアンナプルナIII(左)とガンガプルナ(右)。 ↑

バラケン・ゴンパへ約400m登る。



眼下のマナン集落 岨チリチョピーク(7134m) ↑



ここからの眺望は格別!!!

左からアンナプルナII(7937m)、アンナプルナIV(7525m)、アンナプルナIII(7555m)、ガンガプルナ(7454m)、さらに西にタルケカン(7069m)と連なる圧倒的な美しさを見せる。この間 35 km

同じ位置 → 眼下のマナン ↓



ロッジには、フランスとアメリカのカップルがいた。青年はこの日29歳の誕生日だった。

女性は日本語が少し話せる。日本映画を見ながら独学で勉強したとのこと。



右のふたりは、ドイツとオランダのカップル。



グンサン(3900m)からアンナプルナを振り返る。→

この辺りから今日の宿レダールまでは300mの登り。

途中から今回のハイライト、トロン・パス周囲の山々が見えはじめる。下の写真(57)は、トロン・ピーク(6144m)カチュンカン(6484m)と思われる。



朝の SpO2 は 85%、午後 3 時 91%
今日の歩数は 8,532 歩

トレッキング 7 日目
マナン⑦(3540m)からレダール⑧(4200m)へ

ティンギまでは 30 分ほどで着く。マナンの街を振り返ると煙がたなびいていた。→



子どもたちが笑顔で迎えてくれる。背後の山は、ガンガプルナ。→



ガチュン川越し北東方向にチュル・セントラル(6584m)がたおやかに広がる姿を見せる。↓



グンサンとヤクカルカの間点あたりから見るアンナプルナ↓



ヤクカルカ(4018m)で4000mを超えた。ここでゆつりと昼食、今朝マナンを登ったメンバーの多くはここ泊まりとなるようだ。↓

↓ ガンガプルナ

テリチョピーク ↓



ヤクカルカには水力発電所がある。 →



今日のロッジレダールには 14:30 着 (4200m)
このロッジでは部屋に電灯はなく、ローソクであった。



4400m 地点の茶店で休憩。
アンナプルナを見る目線がだいぶ変わってきた。
→
先ほどのつり橋が遠くなった。
この茶店で、チ



ベトナムのサン(香草)が焚かれていた。背後はアンナプルナ。
←

朝の SpO2 は 92%、
夕方は 90%
今日の歩数は 21,200 歩



トロンフェディ (4450m) が近づいてきた。 →



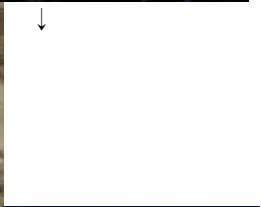
トロンフェディで小休止 ↓

トレッキング 8 日目
レダール⑧(4200m)ハイキャンプ⑨(4883m)

今日の登りは 680m。
レダールからもアンナプルナを大きく望める。
→
レダールから 1 時間ほどで大きなつり橋を渡る。



ハイキャンプは、この上部あと 1 時間半ほど。
↓



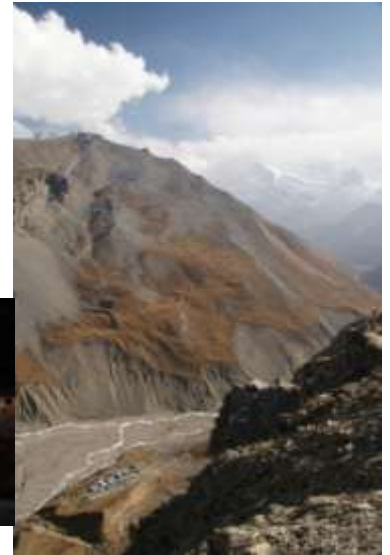
ハイキャンプ(4883m)が見えてきた。 ↓





ハイキャンプからさらに60m登った無名峰から見るハイキャンプ
←
5000m近い場所にこれ

無名峰から500m下のトロンフェイを見下ろす。→



だけのロッジを作るとは
ロッジ内は太陽光発電だと思いが電灯がともる。夜になって雪が降り始めた。「トロンパスには雪がない」と聞いていたが、これで雪に覆われたと峠にたてるとの期待が膨らんできた



朝の SpO2 は 86%、夕方は 90%
今日の歩数は 17,000 歩

ハイキャンプへの途中からほぼ望める、左：プルクンヒマール(6500m)、右：ジンジュン(6100m) ↓



明日は早朝出発！

トレッキング 9日目
ハイキャンプ⑨(4883m)から
トロンパス(5416m)越え
一気に下山し
ムクチナート経由ラニポア⑩(3700m)

4時起床、5時出発が大幅に遅れ5時45分出発となった。
歩きはじめて40分くらいで茶店に着き小休止の後、太陽がのぼりはじめ段々と明るくなる中をゆっくと歩を進める。 ↓



いつでもどこでもビスターリ・ビスターリですすむ。
高度は5000mを超えているが、さほど息苦しくはない。腹式呼吸に努め一歩一歩、歩を確実に。 ↑



あと20分
で峠に立
てる。

←

紺碧の青空
と、足元は
昨夜の新雪
がまばゆい

峠が見えて
きた。←



左トロン・ピーク、右ヤクワ・カン

トロン・ピーク
6144m

←

ヤクワ・カン



(6482m) →



←看板の左から
右下に垂れかか
っているタルチョ
(チベット仏教の
祈禱旗)は、私
が日本から持参
したもの、ちゃんとここに飾ることができた。



中央にタルチョに彩られた峠のモニュメントがある。
峠は大勢のトレッカーがいる。みな到達した喜びを分かち合っている



↑トロン・ピークを挟んで

← 全員で記念写真 左から二人目目ガイドのアン・プーリ・ラマさん



名残惜しいが、
今日の宿泊地
までは長い。
峠に40分ほど
の滞在で高度
差1700mを5
時間ほどかけて
下る。



↑ 峠の西側は荒涼としており、チベットの風景のようだ。



下山開始1時間後。右端は、世界第7位のダウラギリ(8172m)。

季節営業
のロッジで昼
食。だいぶ
高度が下
がってきた



13時20分頃ダウラギリに(左端)雲がかかってきた



ムクチナートが
眼下に見える
↓
ムクチナートは
3800m
富士山より高
い所にある。
ここはヒンドゥ、
チベット仏教



4660 m
まで 80
分。物資
輸送のロ
バものん
びりー休
み
←

などのお寺がたく
さんあり、宿泊施設
はなく、10数分先
のラニボアに泊ま
ることになる。



ラニボアの入り口
カンニ ↓



道端で織物をしている婦人。織っているのは、マフラー。幅25センチ、長さ1.2m程のもの。1日1枚しか織れない。 ↓

ムクチナートまではあと4時間ほどかかる。左の尾根の向うがムクチナート



←4800m地点だが、もうここまで車道がつけられていた。なんの目的なのか？輸送路か、観光道路か？人とは住んでいないのだから生活道路とは言えないだろう





ラニポアのロ
ッジから見た
ダウラギリ

長い一日だ
った。歩きはこ
れでおしまい。

今日の歩数 25,129 歩

トレッキング 10 日目 ラニポア ㊿ (4883m) から ジョムソン ㊿ (2716 m)



ここからジョムソン
までは、乗り合い
ジープで高度
差 1000m を 2
時間半ほどか
けて下っていく。

ジョムソンに到着。 →



今日のロッジ、空港に近いホテル・ニルギリビュー



ジョムソンのメインストリート
右が空港入り口

ロッジで昼食をとり、はじ

めの洗濯を
する。
有料温水シャ
ワーが使えると
いわれたが、や
めにする。我が
家で風呂には
入って以来入
浴はこの日までなし。ロッジからニルギリ・ノース 7061m が見える。 ↓



23	24	25	26	27	28
Holiday					
13 - Laxmi Puja	15 - Govardhar				
14 - Gai Tihar	16 - Bhai Tika				
	20 - Chhat Pars				

この日は 11 月 13 日でヒンドゥ
教のお祭りの日で国の祝日(16
日まで)
夜のとばりが下りる頃子どもたちが
各戸を訪ね、歌と踊りを披露し
募金を集めに来た。



トレッキング 11 日目 ジョムソン ㊿ からポカラへ



← ジョムソン空港

この日天候が悪くポカラ
便は我々の搭乗便からキャンセル。飛行機なら
20 分でポカラだが、
ジープを 2 回乗り換え
10 時間近くかかって、
しかも想像を絶する悪
路……この日歩かず



車の振動だけ
で 33,000 を
歩数計はカウ
ント
だが、おかげで
車とトレッキ
ングと車でアン
プルナを一周
できたことになる。
「終わりよけれ
ばすべてよし」

おかげで、最
初に車を乗り
換えたガーサ
(2010m) だ
は
ここでも満開の
ヒマラヤザクラ
に巡り合えた。

ポカラ 11月15日



アンナプルナサウス 7061m マチャプチャレ 6997m アンナプルナIII 7555m アンナプルナIV 7525m アンナプルナII 7937m ラムジュンヒマール 6986m

この日、ポカラからカトマンズへは 9:30 発
 カトマンズ 10 時であったがどういふ訳か
 15:35 発…しかも前日のように飛行機が
 キャンセルとなると
 「陸路移動」でまたまた 10 時間……何
 とかしてよ!!!!!!
 まあじたばたしてもしょうがないか。
 チャーターしてくれた車でポカラを巡った。
 まず、上の写真は、郊外のサランコットの
 丘へ行く途中から見た山々
 6 年前はもっときれいに見えたが、今回は
 雲が多少邪魔をしている



この丘の上で子どもたちが手製のブランコ
 を楽しんでた。 →



2004 年 2 月各
 国からの援助で作
 られた「国際山岳
 博物館」に行った。
 ここからマチャプチャ
 レが雲間から頭を
 出していた。



何はともあれ、
 YT684 便で無事
 カトマンズに着いた。



カトマンズ 11月16日

3 年ぶりのカトマンズ。
 埃と喧騒の街を歩い
 た。



野菜と果物

肉屋 ↓



なかでも懐かしかったのは、イ
 ンド人のお店。これで 4 回目
 の訪問と買い物。
 「マイフレンド」と、再会を喜
 び合う

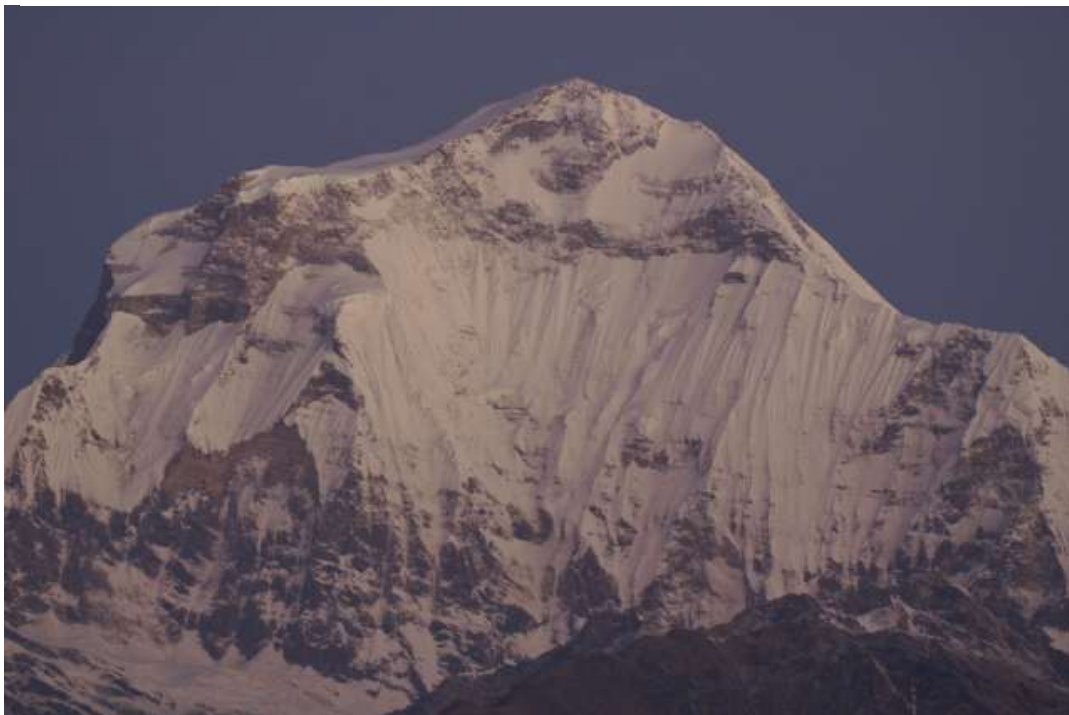


この店も同じ場所で商売をし
 ていた ↓



これで今回のトレッキングの記録はおしまい。
 また、訪ねたい国は、やはりネパール……………

今回のトレッキングは、アンナプルナ山群を主に北側から見た。
6年前は、ずっと南部のゴラパニ・ガンドルック・トレックコースを歩いた。
この時の最高高度は、プーン・ヒルの3193m。
プーン・ヒル、ゴラパニ、タドパニから見た山々も感動的で、その時の写真をいくつか紹介する。



早朝のダウラギリ 8172m プーン・ヒルから



夕日に染まる アンナプルナ・サウス 7219m ゴラパニから



朝焼けのアンナプルナ・サウス タドパニから



早朝のニルギリ(サウス) 6839m プーン・ヒルから



マチャプチャレ 6997m ゴラパニから